

関係各位様

平成 17 年 6 月

発 起 人

まちづくりを考える研究グループ

空創店舗 猪俣芳浩

調査・研究・報告を主目的とする研究グループ設立の提案

【提案の趣旨】

平成 12 年 7 月の発足以来、まちづくりを考える研究グループ(以下まち研)では居住環境・親水・道路とまち並・魅力ある商店・空地空店舗の有効活用をテーマとして調査・研究・事業運営など様々な局面から中心市街地の活性化に取り組んでまいりました。行政との協働を前提とする市民活動として館林市民・学生・行政職員が一体となった一連の動きはマスコミにも多く取り上げられ、多くの成果を残してきたものと思います。

一方、ボランティア活動が前提となった活動においては参加者数が特定できず、イベント運営や調査・研究そして報告書作成といった継続的で中長期の活動にはある種限界の感も否めない実情となっております。

今般の提案ではグループの活動目的を「調査・研究・報告」に限定し、中心市街地活性化に欠かせない問題点に自由な視点から取り組み、市民活動としての成果、またアドボカシー(政策提案)としての協働の成果を模索したいと思います。

【グループの名称】

ラ ボ
まちLab

Laboratory:研究所

【グループの運営方法】

原則的に事務局やスタッフは設けず、ボランティア会員による自主運営。

【会員の募集対象】

館林市の中心市街地活性化に興味をお持ちの方(まち研メンバーに限定しない)

【研究テーマ・方法】

月 1 程度の例会時にメンバーが研究により館林市内において実現可能性の高いテーマを提案。実地調査等は随時。活動時応じて事業評価報告を行う。

【研究報告】

調査報告書、サマリー(要約)、PowerPoint データ、論集作成、政策提案書

【研究資源】

原則会費。但し、助成財団・自治体等からの研究助成金は制度に応じて受給するものとする。